

ウィーンの風

音楽雑学帳



Mido-i

はじめに

今井顕さんは、人も知るウィーン国立アカデミーのピアノ科で教鞭を執る俊秀で、色白の端正な顔立ちは、絵に描いたようなピアニストと言ってよい。それだけに一見芸術家肌の神経質でつきあい難い人ではないかと思わせるが、実はそうでないところが、今井さんの持ち味であり、魅力である。ワインを愛し、美食家で、ジョークを飛ばし、最近ではゴルフも始められた。意外にわれわれ俗人とも共通項を持っておられるのである。しかし、そう思って安心していると、ステージの上でピアノを前にした今井さんのあくまでも繊細でいて凜とした気品にあらためて感心させられる結果となる。

その今井さんの持つもうひとつの側面として私の尊敬おくあたわざる点は、今井さんの学識である。今井さんの芸には学が裏打ちされていると言ってよいだろう。今井さんは、ウィーン日本人会の会報に『音楽雑学帳』という音楽ないしその周辺に関する楽しい読み物を毎月書いてこられたが、この記事は、ウィーンという土地柄もあって音楽には多少とも興味を持つ者の多い在住日本人（私もそのひとりであった）にとり大

変勉強になるものであった。毎月これを読むのが私にとっては大変楽しみで、いつも「ふーん、そうだったのか」と感心させられることばかりが多かったが、時にはこうして仕入れた新知識を受け売りして「学」のあるところを仲間に見せることができたのも今井さんのお蔭げであった。

ところが、この度ウィーン日本人会のお計らいで、『音楽雑学帳』が一冊の本として刊行されることになったと承った。音楽の百科全般にわたっての今井さんの博識を世に広くひろめることができるのは素晴らしいことで喜びにたえない。それは、私も強く希っていたことではあった。しかし「もう知ったかぶりはできなくなるな」ともひそかに思う。とに角、「学」のお好きな向きに必読の書となることだけは間違いない。

前在オーストリア日本国特命全權大使

矢田部 厚彦

目次

はじめに

矢田部厚彦

アーティストの舞台裏

旅芸人

8

デビューまで

15

暗譜の秘訣

19

主役が来ない！

21

奈落の底から

24

棒振りは苦勞人

29

職業病

31

ウィーン留学事始め

35

呼び屋

39

作曲家達とその周辺

病は気から？

.....
44

J・S・バッハ

.....
47

ベートーヴェン

.....
49

シューベルトをめぐって

.....
59

フランツ・リスト

.....
63

ペップァーポピ

.....
66

ウアテキスト

.....
70

楽譜を印刷する

.....
77

音が楽しい！

声

.....
82

音痴とカラオケ

.....
85

ピアノの歴史

.....
88

戦争の爪痕

.....
92

	調律師	95
	自動ピアノ	98
	象を殺さないで!	102
	パイプオルガン	106
	ヴァイオリン	110
	ガイゲンバウアー	112
	ギター	116
	ヒズ・マスターズ・ヴォイス	119
	PCM	122
	音の響き	125
「音楽の都」ウィーン		
	ウィーン昔話	130
	ウィーンフィル	133
	ウィーン国立歌劇場	136

うらめしや〜

140

ドプリンガー

145

キリスト教とその音楽

150

年末年始

153

飲めや踊れや

155

ダンスを習おう！

158

チケットあれこれ

162

その他いろいろ…

山路氏のことなど

172

バレエ

176

「今井先生」^{チンゼン}の北京訪問記

180

北京でピアノを習うには

203

あとがき

214